

第2回 審判協会便り

審判協会事務局よりごあいさつ

昨年は、連盟所属チーム選手関係者の皆様のご協力によりまして予定通り試合消化が出来た事、心より感謝申し上げます。

今シーズンも引き続き選手の皆様が休日にグラウンドで思う存分楽しくプレイをして頂けるようお手伝いをさせていただきます。

すべての審判員が正確なルール適用と正確なジャッジを心掛け、精一杯頑張りますので、何卒宜しくお願い申し上げます。

◀ 審判協会事務局長 中村栄一 ▶

ジャッジに対するリクエストについて

審判員として、常に正確なジャッジに務めて参りますが、時にはジャッジに対し異議を唱える事もあるかと思われれます。

昨シーズンから取り入れましたが、このような時はジャッジに対して『リクエスト』が出来る事を知っていましたか？

監督さんのみに与えられていますが、タイムをかけて頂いて球審へ「今のジャッジを確認してほしい」とお伝えください。

球審、塁審（控え審判も見ている加わる）にて協議の上再度ジャッジをさせていただきます。この最終ジャッジには従って頂きますようお願いいたします。

尚、このリクエストは1試合で2回失敗するまで可能です。

試合について

①試合は2023年度の公認野球規則及び連盟大会規定により進めて参ります。スピードアップに努めて頂き制限時間内で7回まで試合が出来るように、宜しくお願い致します。

②組み合わせ1塁側のチームはベース一式を忘れないようにしてください。（石灰、ラインカーは審判側で用意します）